

TOPICS 4 **ピオラ和泉
脳卒中出張講演会・出張健康相談会**

脳卒中専門医がお話しします。

脳卒中の正しい知識を、一人でも多くの方に知っていただくために、当院の脳神経外科専門医が出張講演会を行っています。会場では健康相談も実施。地域の方で開催をご希望される場合は、当院までお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先/TEL072-265-5568(担当:平岩、吉田)



TOPICS 6 **馬場記念病院
登録医勉強会・集会**

地域医療の明日を見つめて。

地域の診療所とより強く連携し、地域医療の充実に資することをめざして…と

TOPICS 5 **ペガサスグループ
南大阪リハビリテーション・ケア学会**

多職種がともに学びます。

平成31年3月30日(土)に、「第7回 南大阪リハビリテーション・ケア学会」を、馬場記念病院にて開催します。本学会は、南大阪地域でリハビリテーションを提供する多職種のレベルアップを図り、地域市民の生活向上への寄与を目的とし、今回で7回目を数えます。

参加者は、リハビリテーションセラピストをはじめ、看護師、介護士、医療福祉相談員、臨床心理士、栄養士など、多種多様。毎回、熱気あふれる会場では、日頃の業務、研究などの成果が発表されます。

もに学び、語り合う「馬場記念病院登録医勉強会・集会」を平成31年2月2日(土)に開催。今回は50名の診療所の先生がお集まりくださいました。



ペガサス健診センターのご案内
お問い合わせ/072-265-6006

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。

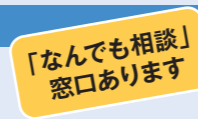


ペガサス地域包括ケアセンター

場所: 馬場記念病院 総合案内横
時間: 平日9時30分~12時まで

健康のことから在宅介護まで。多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ/TEL:072-265-5558(担当 平岩)



**ペガサスグループ
株式会社ユニコ**

取り扱う紙おむつは148種類。大幅な値下げも実施中です。



●お問い合わせ
TEL:0120-062-505

私たちと一緒に働きましょう。 随時受付しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃 D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ/馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089

社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

seminar

3月 ペガサスセミナー

骨粗鬆症とその予防

講師: 整形外科医師 斉藤公亮
日時: 3月29日(金)午後2時~3時
場所: 馬場記念病院 1階ロビー

3月 ペルセウス介護支援セミナー

訪問看護師がお伝えする「お家での療養方法について」

講師: ペガサス訪問看護ステーションイースト 訪問看護師 池尻君代
日時: 3月26日(火)午後2時30分~
場所: 介護療養型老人保健施設 ペルセウス3階食堂

3月 ペガサスセミナー 和泉

明日から使える! 認知症の基礎知識

講師: 臨床心理士 山根健嗣
日時: 3月28日(木)午後2時~3時
場所: 介護療養型老人保健施設エクス

3月 ロイヤルリゾート健康相談会

朝、昼、夕食食べられます! 利用者様に1日寄り添うデイサービス

日時: 3/13日(水)午後1時30分~
場所: ペガサスロイヤルリゾート

ペガサスマンモサデー

開催予定 (毎月第2日曜日)

【開催日】(予定)
3月10日(日)、4月14日(日)

【開催時間】
9時~17時

【お問い合わせ】

TEL:072-265-6006 (ペガサス健診センター)

PEGASUS NEWS



ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集/ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力/HIPコーポレーション
発行/平成31年3月13日

Vol.84

ペガサスから地域の皆さまへ

馬場記念病院、病院機能評価を受審。5回目の認定更新をしました。

●地域医療を支える基幹的病院。

馬場記念病院は、平成31年1月4日付けにて、病院機能評価の認定を受けました。最初の認定は、平成11年2月。病院機能評価が開始されてまもなくの頃です。それから20年、ずっと更新を続け、今回で5回目となります。

機能評価を行うのは、公益財団法人日本医療機能評価機構です。評価を受ける機能種別は、当院の場合、<二次医療圏等の広い地域において、急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院>と設定された一般病院2。書面審査を経て、訪問審査では5名の評価調査者による調査を受けました。評価調査者は、専門知識をもとに、中立・公平な立場から当院をしっかりと調査してくださいました。

●組織的な質の改善への取り組み。

評価対象領域は、第1領域:患者中心の医療の推進、第2領域:良質な医療の実践1、第3領域:良質な医療の実践2、第4領域:理念達成に向けた組織運営があります。いずれの領域も細かく分類され、当院ではその一つひとつの見直し、改善などに取り組みました。また、今回はプロセス重視の評価であったため、患者参画の医療、医師をはじめ多職種連携のチーム医療など、これを機会に、これまでの仕組みや必要書



類などの総点検を実施。多職種による議論や検討を重ねるなか、組織的に質の改善に取り組むことができました。

●医療の質の向上にさらなる挑戦を。

当院が、平成11年に初めて病院機能評価を受審した当時は、「正しい病院でありたい」「正しい医療を提供したい」という、院長 馬場武彦の思いを全職員で共有し、病院改革に取り組む真っ最中でした。その達成度、さらなる改善課題を、第三者の眼を通すことで、より明確にするのが受審目的。認定で弾みをつけた当院は、以来、今日まで改革に続く改革を進めています。

医療は、時代の変化、社会の変化とともに、求められる姿、形が変わります。当院は、そうした医療ニーズを正確に見つめ、そして、しなやかな発想、態勢を常に持ち、医療の質の向上に今後も取り組み続けていきます。

医療は、時代の変化、社会の変化とともに、求められる姿、形が変わります。当院は、そうした医療ニーズを正確に見つめ、そして、しなやかな発想、態勢を常に持ち、医療の質の向上に今後も取り組み続けていきます。



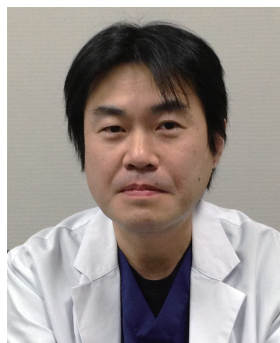
このドクター、この治療

消化器内科医

no.2

河内屋友宏医師に
お話を聞きました!

年々増える膵臓がんに対し、内視鏡を用いた
検査や治療を行っています。



Profile

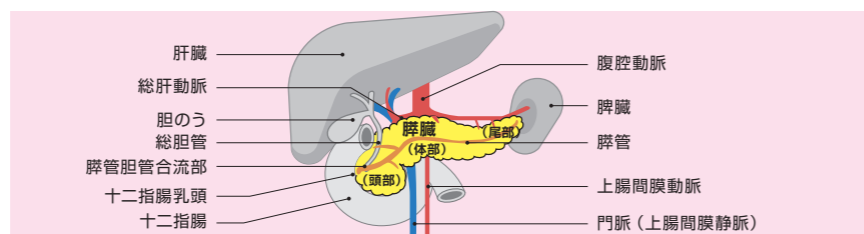
河内屋 友宏
消化器科副部長・内視鏡センター長
日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本消化器病学会 指導医・専門医
日本消化器内視鏡学会 指導医・専門医

内視鏡的胆管ステント術で
膵臓がんによる黄疸を改善。

膵臓がんが早期発見できれば、外科の手術を適用しますが、進行がんの場合は内科的治療を続けます。その際、多くの患者さまに見られるのが、全身の皮膚が黄色くなる黄疸の症状。これは、膵臓がんが大きくなり、胆管(肝臓から十二指腸までの胆汁の通り道)を圧迫するために起こるもの。胆汁の流れを戻し、黄疸を改善するために、私は、胆道にステントと呼ばれる筒状の器具を留置する、内視鏡的胆管ステント術を積極的にを行います。

カンサーボードを開催し、
個別の治療法を検討します。

膵臓がんに対する内科的治療は、抗がん剤です。最近では新薬が次々と開発されていますが、強い副作用を伴うことも報告されています。そのため私は、治療戦略を立てる際、患者さま一人ひとりの希望や年齢などに応じて、個別にきめ細かく検討するよう心がけています。また、月に1回、カンサーボード(がん患者さまの治療法を考える検討会)も開いています。メンバーは、外科医、消化器内科医、がん化学療法看護認定看護師、病棟看護師、薬剤師、臨床工学技士、セラピストと、多彩な顔ぶれです。私自身、誰でも気軽に発言できる雰囲気づくりを心がけ、活発に意見を交換。多職種ならではの視点や気づきを最大限に活かし、最善の治療に向けて総力を結集しています。



さまざまな検査を組み合わせ
膵臓がんを正確に診断します。

膵臓は胃の裏側にあるため、がんができて症状が出にくく、早期発見が難しい臓器です。当科では膵臓がんが疑われる患者さまに対し、最初に造影剤を用いたCT検査を行い、もう少し詳しい検査が必要な場合、超音波内視鏡(EUS)を行います。これは、胃の中から膵臓に超音波を当て、病変を詳しく観察するもの。さらに必要に応じて、膵臓に針を刺して組織を採取する超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)を行い、病理診断をしています。

エキスパート | **がんリハビリテーション理学療法士**

シリーズ no.14

ご本人の心の内に
寄り添い支えます。

今までと変わらない生活を
取り戻すための機能訓練を実施。

がんリハビリテーションとは、患者さんの持つ能力を最大限にまで高め、今までと変わらない生活を取り戻すことができるよう、支援するためのものです。厚生労働省後援の「がんのリハビリテーション研修」を、医師、看護師、作業療法士、言語聴覚士とともに参加し、現在は、薬剤師、栄養士、MSW、

歯科衛生士、臨床心理士を加え、緩和ケアカンファレンスで患者情報の共有を図っています。

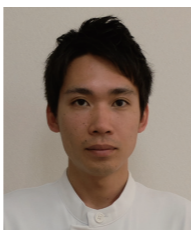
実際の機能訓練は、がんと診断された時点からは、予防的機能訓練が始まり手術や抗癌剤治療による合併症予防をめざします。手術前後には、体力・筋力の低下を最大限回復させることが目標になります。また、緩和ケアの一環として、苦しまずにできる動作方法を身に着ける機能訓練もあります。

いずれの期間においても、がん患者さんは、ご自身の不安な気持ちや本心

を表に出す方は多くありません。それだけに心の内を丁寧に聞き取り、寄り添っていける関係性を結ぶことに力を注ぎます。

今後は、術前や化学療法中からの外来リハビリテーションを充実させ、合併症予防、体力維持、仕事をお持ちの方には早期復職ができるよう支援を強めたいと思います。

馬場記念病院
リハビリテーション部
理学療法士 内海俊士



TOPICS 1 **ペガサス保育園つばさ
平成31年度医療的ケア児入園募集中**

0歳から就学まで、ペガサスで
一貫した保育が可能になりました。

●医療的ケア児の入園を募集中です。

ペガサスグループの社会福祉法人風の馬が運営する、「小規模保育園ペガサス保育園つばさ」では、平成31年度の医療的ケア児の入園を募集しています。医療的ケア児とは、人工呼吸器や胃ろうを使い、たんの吸引や管での栄養注入などのケアを必要とするお子さんのこと。同園では定員19名のうち、医療的ケア児は5名を受け入れています。年齢はこれまで0歳から2歳までを対象としていましたが、堺市と協議の結果、3歳からはペガサス保育園、ペガサス第二保育園に転園し、就学まで一貫した保育が可能となりました。

●多職種チームが医療的ケアを提供。

ペガサス保育園つばさの開設は、平成30年4月。重症心身障害児対応の児童発達支援事業を併設した小規模保育園として、政令都市で初めて誕生しました。これは堺市の子育て支援事業の新たな取り組みの一つであり、設置・運営する事業所が公募され、社会福祉法人風の馬が担うこと

TOPICS 2 **がん患者サポート1
復職支援の相談室**

MSW、認定看護師、社労士など、
専門の担当者が相談をお受けします。

「がんとともに生きる時代」の今日、継続治療を受けながら、復職を考える方も増えています。そうした方にとっては、「抗がん剤治療を受けながら本当に仕事ができるのか」「職場にがんであることを話した方がよいのか」などと、さまざまな不安や悩みが生じることも少なくありません。そうしたとき、独りで抱え込まず、ペガサスにご相談ください。がん治療や療養生活などの医療的、治療費などのご相談は、医療ソーシャルワーカーが。治療と仕事の両立の計画、抗がん剤治療に伴う副作用・外見の変化、人工肛門についてのご相談に対するご相談は、がん化学療法認定看護師が。そして、労働に関するご相談は社会保険労務士がお受けするなど、患者さまの相談内容に応じた専門の担当者が支援をします。



お問い合わせ・お申込み先
ペガサス包括ケアセンター TEL 072-265-5568

になりました。医療的ケア児のなかで集団保育が心配される場合は、ペガサスの児童発達支援事業所(堺市全域送迎サービス有り)を利用することができます。また、ペガサスグループが全面的にバックアップしており、看護師、リハビリテーションスタッフ、臨床心理士など、多職種がチームを組み、高度な医療的ケアを提供しています。長時間の預かりもお受けするなど、保護者の方も安心してお仕事ができます。



●今を、心を大切にしたい保育を実践。

同園では、小規模保育という特徴を活かし、一人ひとりに合わせ、家庭的な雰囲気のなかでの保育を実践しています。姉妹園であるペガサス保育園、ペガサス第二保育園の園



児とも交流があり、季節のイベントを一緒に楽しむことも。子ども一人ひとりの今を、そして心を大切にしたい保育をご提供しています。

TOPICS 3 **がん患者サポート2
ペガサス就労支援システム**

職業トレーニングプログラムを作成、
業務に必要な機能獲得をめざします。

がんの治療を受けながら復職を希望する方が、スムーズに仕事を始められるよう支援するために、ペガサスグループでは「ペガサス就労支援システム」を整備しています。このシステムでは、患者さまの個性に応じて、職業トレーニングプログラムを作成。まずはボランティアスタッフとして仕事に取り組み、希望の業務に必要な機能を獲得した後は、ペガサスの職員採用試験を受けていただきます。このシステムを活用し、すでにペガサス職員として活躍する方々増えてきました。ご自分らしく生きるために――。ペガサスの就労支援システムをお役立てください。

お問い合わせ・お申込み先
ペガサス包括ケアセンター
TEL 072-265-5568